



特別第1 分科会

日本PTA担当

研究課題

世界で活躍する人材を育むために ～これからの国際化に対応できる力とは～

現状と課題

日本PTA全国協議会の取組の中に「世界で活躍する人材を育む活動」が挙げられています。それを実現するため長年にわたり国際交流事業や国内研修事業が実施されてきました。近年はコロナウイルス感染症防止のため、国内での実施が主になっていますが、世界で活躍する人材育成というポリシーはしっかりと根付いています。第71回日本PTA全国研究大会のスローガンにもなっている「学びの変革」も文部科学省の国際バカロレアを受けた政策とリンクしています。国際化は今後さらに加速される流れであり、PTAとしても理解を深めていくため、一緒に考えていきましょう。

討議の視点

- ① 世界で活躍する人材とは
- ② 世界で活躍するため、子供たちに必要な力とは
- ③ 今後世界に羽ばたく子供たちを育てるためにPTAが考えておくべきこと
- ④ 令和の日本型学校教育、「個別最適」で「協働的」な学びと国際化・英語教育

提言者

●基調講演者

村岡 啓道 氏

独立行政法人 国際協力機構 中国センター 所長

●実践発表者

横田 健司 氏

A I C World College (AIC国際学院) 総校長

●コーディネーター

桑山 尚司 氏

広島大学大学院
人間社会科学研究所・異文化間教育推進室
／広島大学教育学部 講師

●パネリスト

村岡 啓道 氏

独立行政法人 国際協力機構 中国センター 所長

横田 健司 氏

A I C World College (AIC国際学院) 総校長

東川 勝哉 氏

公益社団法人日本PTA全国協議会 元 会長

特別第2 分科会

文部科学省協力

研究課題

教育の情報化の推進

～これからの情報化社会に生きる子供たちに必要なもの～

現状と課題

令和元年12月13日に閣議決定された補正予算において、児童生徒向けの一人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するための経費が盛り込まれました。これを受けて、タブレットの配布やデジタル教科書の推進など、子供たち一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現に向けてスタートが切られています。

現在ICTの活用が日常的なものとなっており、情報テクノロジーが子供たちの可能性をさらに広げ、学校教育を大きく変えていくことが期待されています。

また、本全国大会のスローガンである「学びの変革」でも個別最適な学びが重要なポイントとなっており、今後の激動の社会を生きる子供たちのICT学習推進のため、行政・学校・地域等と力を合わせていきましょう。

討議の視点

- ① デジタル教科書が拓く個別最適な学びとは
- ② 情報や情報技術を主体的に活用していく力を育むために
- ③ 激動の時代に生きる子供たちに必要なICT活用技能について
- ④ エドテックと教育イノベーションについて

提言者

●基調講演者

塩田 真吾 氏

国立大学法人 静岡大学 教育学部
学校教育講座 准教授

●実践発表者

高尾 裕子 氏

鳥取県PTA協議会 副会長

●コーディネーター

塩田 真吾 氏

国立大学法人 静岡大学 教育学部
学校教育講座 准教授

●パネリスト

文部科学省初等中等教育局
教科書課職員

高尾 裕子 氏

鳥取県PTA協議会 副会長

開地 義明 氏

広島市電子メディア協議会 会長

西田 文比古 氏

エヌ・ティ・ティ ラーニングシステムズ
株式会社 取締役 教育ICT推進部長